

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一)内には、各会派等からの質問申出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	375分
公明党	6人	220分
誠友会	4人	195分
新政クラブ	1人	90分
市民連合	2人	130分
日本共産党	2人	130分
無所属	1人	30分

* 9月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合
各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画放送をインターネットで視聴することができます。

また、[福山市のホームページ](#)
→ [福山市議会](#) → [議会中継](#)
→ここからも視聴できます。

枝広市政の今後は



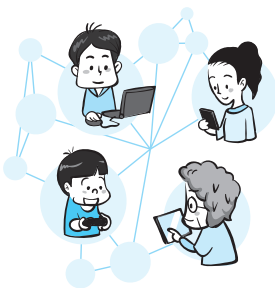
おおた 大田 祐介
水曜会 (100分)

問 2期目後半に向けての決意は。

答 世界バラ会議福山大会の開催に向けた都市環境整備のほか、希望の子育ての実現に向けた福山ネウボラのさらなる進化や福山駅周辺における新たな都市空間の創造、2023年の概成に向けた抜本的な浸水対策などに注力する。

こうした取り組みに加え、本市の将来を見据え、新たな視点で都市づくりを進めていく。本市には幾多の合併を重ねてきた歴史があり、それぞれの地域の個性は多様な魅力として根付いている。それが原動力となり本市の発展をけん引してくれるものと考えている。このため、地域に着目したまちづくりを進め、さらに元氣な都市へと成長させていく。

また、社会のデジタル化を強力に進め、新たな価値を創造することで地域や産業のさらなる発展につなげていく。



国の特別史跡「廉塾ならびに菅茶山旧宅」は



さかき 榊原 則男
水曜会 (65分)

問 適切に保存・活用し、次世代へと確実に継承していくため、2019年からは本格的な保存整備事業が開始された。それに伴い駐車場整備も計画されている。それぞれの進捗状況とスケジュールは。

答 2018年度から保存整備事業に着手し、昨年度までに発掘調査や祠堂の半解体・組み立て工事などを完了した。

現在は、講堂の実施計画に取りかかっており、2024年度には講堂の修理が完了する予定である。その後は、茶山旧宅、中門、土蔵などの整備を順次予定しており、2032年度には保存整備の完了を見込む。駐車場整備は、2020年度に用地取得、実施設計などを行った。今年度はブロック塀改修などに取りかかることとする。一般車両は2024年度中、中型バスなどは2027年度の供用開始に向け、整備を進めている。



祠堂補修工事の様子